

# さ ざ ん か

第70号、2007年8月

記録的な暑さをもたらした今年の夏ですが、なんかもう暑さそのものが話題性というか人の興味を引くということが少なくなってきました。地球温暖化はニュースとしてちょっと陳腐化してしまっただけでその価値が減ってきたということでしょうか。本当はそんな暢気なこと言ってる場合じゃないのですけどね。どこまで心配するのか。現在の日本人で、今から50年後の未来まで生きている人間は、日本人の平均余命から計算すると女性でいま35歳くらいまで、男性で30歳までの人たちだけだし、100年後の世界になると殆どゼロに近いくらい現在生きている人間はいない、その未来の世界をどこまで真剣に心配できるか。

まあ、自分達が生きているあいだ大災害がなければいいや、と多くの人たちが考えるのであれば地球温暖化防止は亀のごとき歩みでしか防止できないのではないのでしょうか。なんか政治の世界の1票に近いところがありますね。たかが1票で世の中は変わらないよ、と思っていたら意外に先の参議院選挙では自民党が大敗し政局は動きそうです。でも世の中は変わらないのかもしれない。それでも、各人の1票や環境保護の1歩は大事だと思うこと、信じるのが大切なのでしょう。そもそも信じるとか、祈るとか、希望するとか、願うとかそういう行為がないと人生は日常のつまらない繰り返しに過ぎなくなってしまそうです。日々、希望を持ち感謝の念で過ごせたらいいなと思います。

## 念ずれば花ひらく (坂村真民)

念ずれば花ひらく

苦しいとき 母がいつも口にしていた

このことばを わたしもいつのころからか

となえるようになった

そうしてそのたび わたしの花がふしぎと

ひとつひとつ ひらいていった

---

俳句 西屋敷 喜美子

名人と言われし夫の 胡瓜畑

台風の 日本列島 脅かす

## 病院からのお知らせ

- \* 外来の採血開始時間を午前 8 時半から 8 時に変更しました。朝食抜きの採血があるときは早めに来院してさっと採血をすませ、診察時間が来るまでゆっくりと朝食を取っていただけたらと思います。
- \* 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
- \* MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
- \* MRI では腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症など）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- \* マルチスライスCTで、冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR 血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。
- \* 大口パレット会の展示画が更新されました。どれも力作ばかりです。病院の中の美術展をお楽しみください。
- \* 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- \* 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- \* リハビリテーションのみが目的の方で、2,3ヶ月歩行訓練とか筋力増強訓練を希望される方には亜急性期病床を8床準備してあります。ご希望の方がいらっしゃれば各科外来にてご相談下さい。
- \* 内視鏡施行医が不足しており、検査日までの予約の待ち時間が長く、ご迷惑をおかけしております。来年度はどうか改善したいと思っております。しばらくはご辛抱ください。
- \* 北薩病院のホームページにもこの「さざんか」は掲載しております。ホームページを見ていただくことで、遠方在住の家族の方に、自分の親や兄弟、姉妹がかかっている病院のことを少しでも知っていただければよいなと思います。（安心するか、心配するか）
- \* 専門外来のお知らせ  
肝臓病：毎週月曜日午後（鹿児島大学小原医師）  
血液病：毎月第2火曜日（鹿児島大学大納医師）  
糖尿病：毎週 月、金曜日（福重医師）  
難病外来：隔週水曜日午後（院長）

---

---

## 自分の値段

---

---

平城 エミ

過日、何気なく開いた本に「貴方の値段はいくら」とあり、続いて自分の値段はいくらか、評価してみた事があるのかという主旨の文章があって、ドキリとさせられた。

考えてみれば私自身一体どれだけの値打ちがあるのか、体力の面で、労働力の面で、技術の面だと、自分自身を客観的に評価した事がない。

言われてみれば、学校を卒業しエレベーター式に就職し、組織のきまりの中で、恰もそれが当然の如く、所謂大過なく過ごして来た何十年。

お前はどれだけの値段なのかと問われると、うろたえざるを得ない。組織のきまりで毎月戴く給料を、当然の事として何の疑問も抱かずに、過ごして来た年月。自分は果たしてその労働の対価に値する仕事をやって来たのかどうか。振り返れば忸怩たる思いのこの頃である。

人は自分の評価には甘い。正義は常に吾にありと思いがちであるが、第三者のつける値段はそれなりの正当な評価であろう。自分のつける値段と、第三者の冷静な評価で決まる値段の落差が、大きければ大きい程、人は不満を募らせ、やる気を失ってゆくのではなからうかと、今にして思い至った。

迂闊にも、私は、自分の値段を考えてみるなどという、真摯な姿勢などといった事がなく、ぬるま湯につかった様な何十年を過ごして来てしまったけれど、ある時「人は大いなるもの（神仏）がつけたそれぞれの値段の中で生きている」という文言に出合って、ホッとしたのも事実である。

思えば人生は長い。昭和二十年、日赤救護班要員として、召集された海軍病院で、腰椎カリエスを発病して以来 12 年のギプス床の生活を余儀なくされ、看護のあり様を身を以って体験した日々。

人それぞれの思いと技と力とが相俟って、個性ある看護が展開されてゆく。看護する側の思いと、看護される側の思い、看護する側の行い慣れた手技、その乖離を気付かず、自らの行為と思いを、是として来た自分。それを嫌という程、気付かされ体験した 12 年。

当時不治といわれた病名を背負いながら、死を思いつつギプス床で、悶々輾転反側して過ごした夜の数々。その中で自らの病と将来を受容出来る心境になった時、もし今度立ち上がる日があったら、今一度白衣を纏える日が来たら、今度こそ本当の看護婦になってみせる。そう自らに誓いもし、看護教育を担当された教授にも宣言した筈であったのに、喉元過ぎれば熱さ忘れる！

漸く得た職場での白衣の誓いも、年月の経過と共に色褪せて、自らの値段をつけてみ

る事など、思いさえしなかった歳月。

こんな過ぎ越しを謝るべき師も、今はすでになく私自身の人生も、終章に入る。真摯にたゆみなく生きるというのは、至難の技である。自覚は常にとり返しのつかぬ時になって、出て来るものようである。  
(空に咲く花より転載)

---

---

## 県立北薩病院の理念

---

---

慈愛・協調・前進

---

---

---

---

## 県立北薩病院の基本方針

---

---

- 1 患者さんの満足、ご家族の安心を提供します
  - 2 急性期医療の実践と、より高い専門医療を追求します
  - 3 地域の医療、福祉との連携を強め、これを支援します
  - 4 仕事を通して喜びと生き甲斐を追求します
- 
- 

---

---

## 真夏の夜の夢

---

---

カラーマン (とその女)

とにかく毎日暑い。それだけは確かだ。気温が36度だ？体温と似たり寄ったりじゃないか。ふざけるな、こんなに暑くっちゃ夜もぐっすり眠れないぞ！などと叫んでも少しも涼しくならない真夏の夜。カラーマン、暑さにうなされながら夢を見る。

最近随分夏も涼しくなってきたねえ。なんと言ってもビルの屋上を緑化して屋上庭園や菜園を義務付けたのが良かったのだろう。(ほんとにそうね。むかしはビルとアスファルトだらけの都会はヒートアイランドとか呼ばれていたものね)。

耐震構造の偽装問題なんてのがあったけど、あの頃に比べたら今は屋上にかかる負担を考えて、随分厳しい審査をしているからなあ。あれは、完全に検査を民間に任せただけだった。(そういえばなんでもかんでも官から民って流行っていたわね。カンカラミン、カンカラミンの大合唱、コーリツー辺倒のコイズミさん)

効率化と手抜きを勘違いしたアホが沢山いたらしいからなあ。ちょっとでも金儲けの臭いがすると、倫理も道理もすべて失って行動する、そんな悲しい時代があつたようだね。お金儲けしてなんで悪いんや？という議論が幅をきかせていたらしいもんなあ。ちゃんと反論できなかつた人が多かつたというのも不思議だね。（あ、あたしは、でも 100%の反論はできないなあ。お金って大事なもの……。すべてじゃないにしても。）人件費を削って会社が繁栄しても意味がない、ということに気づくのに一体何十年かかつたのだろうかねえ。

そういえば、あの時代は資本主義原理主義の時代だつたんだよなあ。なんにでも原理主義が流行つた時代だつたね。イスラム教原理主義、キリスト教原理主義などと同じように資本主義原理主義が幅を利かせた時代だつたようだね。資本家のためにすべてがある、経営者も従業員もすべては資本家（株主）の持ち物だ、などととんでもない原理主義が通用した時代だつた。（そのずーと前は、社会主義原理主義のソビエト連邦とかあつたし、もっとまえは民族主義原理主義のナチスドイツもあつたけど、やはり行き過ぎの原理主義って長続きしないのしょうね。）

中国がはじめてオリンピックを開いたのもあの頃だつたろうか。成熟しないまま資本主義原理主義が浸透し、億万の民がお金儲けばかりに走つたとか。お金になれば何でもする国民で満ち満ちていたようだね。それで、結局いまみたいな国々に分裂してしまつたからなあ。（貴方の場合はお金に走りたくても、走る機会がなかつたわよね。それがよかつたのしょうけどね。あたしと一緒になれたし……）

結局、「足るを知る」ことを知つた国民がいたからこそ、相変わらず豊かなニッポンでいらつたのだろうね。（朝鮮半島も統一以来混乱の極みがつつと続いているし、かつての超大国米国は少数派金持ち白人と多数派貧乏ヒスパニックのいがみ合いで内戦状態みたいだしね。）

でも、わが国が豊かになれた最大の原因は、なんと言つてもバイオ燃料、それも木材からエネルギーを取れるようになったのが大きかつたね。化石燃料と同様、結局すべては太陽からもらったエネルギーだということではあるけど、今のサイクルで伐採、植林をしていけば、半永久的にエネルギーが得られるとの試算がこの間でつたね。セルロース問題がもう少しで解決したら雑草からもエネルギーが得られるのももうそう遠くないようだしね。稲わら利用は実用化したばかりだし。

平均寿命もとうとう女性は 95 歳、男性 90 歳になつたようだね。医療費も GDP の 20% とはいえ、殆ど昔みたいにガンで死ぬことがなくなつたので、療養費みたいなもんだしね。

国費の半額をエイズの治療費に使っている欧米諸国からすると、エイズがまだ大々的に流行る前から、水際作戦が取れたのは島国であったことに感謝してもしきれないといったところだろうね。介護保険とあわせると福祉大国とっていいだろう。(そうよね。昔より多分みんな幸せだと思うわ。実質、結婚制度というしぼりがなくなったのもあたしはうれしかったなあ。)

昔みたいに東京や大阪に人が集中することもなくなったね。やはり、豊かな人生を送るには豊かな自然の中で過ごすのが一番いい、というのはそうだからね。いまや、地方に半数の人が住む時代になったからなあ、昔を思うと考えられないことだ。バイオ技術の進歩がここまで農業をかえるとはね。いまや、世界に冠たる食糧輸出国だからね、わが国は。

もっとも農業が崩壊しているかわいそうな中国やアフリカに輸出して儲かっているというちょっとした後ろめたさもあるなあ。でも、タダで食糧を分けてあげるほどの余力はないしね。(それでも世界で一番多くの援助をしているのはあたし達のニッポン国なんですよ)

まあ、わが国だけが「足るを知っても」仕方がないと気づくまでには随分時間がかかってしまった。「足るを知らない」となりの民族から攻められて、初めて力をもつことの意味がわかり、国防軍ができてからもう 30 年も経つけど、あの当りも大きな分岐点だったねえ。他国民の信義とか善意を信じて、向こうが軍事力を使わないということが前提の外交をしていたからなあ。ほんとにお人よしだったんだ、昔のニッポン人は……。

あまりの暑さに、うなされて目が覚めた。汗びっしょり。また、今夜も熱帯夜である。まったく。それでも夏は暑いから夏らしくていいのだろう、と思い我慢することにしよう。(そうだね。あなたもあほな夢をみるからあなたらしくて良いのだわ)。それにしても、夢の中では寿命が女 95 歳、男 90 歳まで伸びていたけど、私はそれが幸せだとは思えないなあ。儚く、もろく、あやういのが人生の綾だと私は思うな。人には“死に時”があるもんだと思うなあ。(そうかしら。あたしは、人生の綾なんかなくてもいいから、ずっと長生きしてあなたと一緒に暮らしてみたいなあ！)

---

---

## 編集後記

---

---

暑い、暑い、暑い、と言っても暑い。暑くない、暑くない、暑くない、と言ったら涼しく感じるかと思ったがやっぱり暑い。一切言葉を使わずにじっと我慢してもやっぱり暑い。

心頭滅却を試みても暑い。暑さを変えることはできない。冷房でごまかしたり、避暑に行くことはできても、いま、ここにある暑さはどうしようもない。だからといって、いたい私はどうしたら良いのでしょうか？ (KT)